

歳出 (町の支出)

質疑

総務費

職員研修費減の要因は

〔奥山委員〕 職員研修開催事業の決算額が、平成29年度の約半分である。要因は。

〔総務課長〕 29年度は、情報セキュリティ関係の研修を外部講師により行ったが、30年度は自前で行ったため、講師代の支出がなかった。

迅速・正確な情報提供を

〔金田委員〕 町民への情報提供として、町報が月1回となったが、経費状況は。

〔企画政策課長〕 町報の印刷費は402万円ほど。お知らせ版があった時と比較すると、ページ数は増えたが、印刷費は16万円ほど減少している。

〔金田委員〕 月1回発行のメリット、デメリットは。

〔企画政策課長〕 配付文書が多く、町内長等に負担があるため、月1回になった。町報は、情報の鮮度が少し落ちるデメリットがある。

民生費

※成年後見制度

〔竹田委員〕 成年後見制度利用支援事業の執行

状況は。

〔健康福祉課長〕 町長申立の事案があり、診断書作成料を負担した。

〔竹田委員〕 今後必要性が高まり、相談も増えるのでは。見通しは。

〔健康福祉課長〕 日常生活相談は増えており、成年後見まで考える方もいる。専門的な部分は、社会福祉士や弁護士と相談しながら対応。今後は、置賜定住自立圏の中で成年後見センターの立ち上げも協議しており、町も十分な支援体制をとっていくべきと思う。

※成年後見制度とは、判断能力の不十分な方々を保護し、支援する制度。

利用が進まない

〔笹原委員〕 新婚新生活サポート補助金の実績と利用が進まない理由は。

〔健康福祉課長〕 1組、

28万円の支出。国の補助制度がベースで所得要件があるが、その要件をクリアできないため利用が進まないのではないかと県へ話をしている。

目標を達成したが

〔笹原委員〕 婚活サポート補助金の実績は。

〔健康福祉課長〕 お見合い30件、成婚が2件で目標を達成したが、30年度の新規事業は低調だった。

